



トウモロコシの活性炭 りんご・桃 改植事例



トウモロコシの活性炭を散布後改植した樹



散布せず改植した樹

1年で1.5から2倍の
太さの違いになる
岩手県奥州市江刺区



支柱の樹が当初の苗、写真左の間にある木は伸びた脇芽から成長したもの(それだけ樹勢が良い)

こちらの畑は苗木を植えても毎回枯れてしまうという典型的な畑で解消された事例です。せっかく定植しても枯れてしまえば苗代も人件費も無駄になってしまいます。



横手市の桃改植事例 (改植から1年経過)



活性炭を使わなかった苗は枯れてしまいました

専用サイトはこちら



株式会社 **アーフネット**

ニュース2013年3月製法特許取得しました!

2017/11/24

秋田県鹿角市の事例（北限の桃として有名な産地です）

2014/05/01日 改植



2014/05/12



2014/08/06



5月1日改植し、その後生育は順調です。

2015年5月3日撮影、今年は豪雪で被害が出ましたが改植した苗は1本も枯れていませんでした。



若干雪で枝折れもありましたが、4本の苗は枯れがありませんでした。



左が今年、右手前が前年改植 2015年9月14日反対側から撮影、樹勢が強いことが確認できます。

想定外の事例



2014年左のように葉が赤くなった。こうなると枯れるだけなのだが、この農家は活性炭と肥料を上から散布したら翌年何事もなかったかのように復活。これには私も農家の人もびっくりでした。



樹齢37年の桃の木。桃の木の寿命は12年から13年と言われているので脅威です。こちらの農家で2本残っています。桃のいろいろな情報ももらえたうえ、昨年は注文を一部断つても私の知り合いに回してもらえました。大変好評でした。

秋田県鹿角市のJA様から農家の改植に採用された事例

昨年秋田県鹿角市の桃の改植にトウモロコシの活性炭を採用していただきました。すべての農家の情報がありませんが、トマト栽培でお付き合いしていた農家様もJA経由で使っていましたので、時系列で観察していましたが、今春一本の彼もなく無事成功しました。

下の二枚の写真の中で、右側の列は2014年に活性炭なしで改植していたものです。土の上から活性炭を撒いても効果があるはずで使っている農家の情報があり、今年やってみるとのことでした。



下の桃の改植での初めて採用された農家の事例、これがきっかけになりました。

この実績がJAの大量採用につながった!



2014年



2015年



2016年

横手の農家様の事例、表紙の続編

桃の改植の発端はこの秋田県横手市の農家様がネットで購入しことから始まりました。

2014/04/28撮影



2014/08/01撮影



2015/07/17撮影



2016/04/22撮影



今年広島県の農業技術指導所からブドウの改植と、モンパ菌対策で問い合わせがあり、2軒の農家様で活性炭とトリコデルマ菌の採用が決まりました。今までブドウの事例はありませんので、今年の結果が注目されることです。

果樹の改植での施工事例



野菜と違って一回きりなので坪あたりの投入量は坪あたり2～3リットルが望ましい。(JAかづの様では苗木1本に3リットルを推奨) 散布はトラクターで掘り上げた畝幅に均一に撒きます。実際の苗の場所は少し多めにすると良いでしょう。

桃の栽培の課題

改植園は新植園より樹勢が弱く、樹冠拡大が困難で幹が太らないため、生産量が少なくなる。この現象は、モモ以外の樹種でも発生するが、トウモロコシの活性炭を使用した場合、樹勢は良いことが見受けられる。

いや地の要因

- 前作のモモの根の毒素(青酸配糖体とその分解物)によって、根の生長が抑制される
 - 土壌の物理性(団粒構造の変化)や化学性(特定の微量元素の吸収)の悪変によって、根の生長の抑制、樹体の養分バランスが崩れる
 - ネグサレセンチュウやネコブセンチュウが、根に侵入する
- ★新植地には、堆肥や微量元素、土壌改良剤などを十分施用する

事例のご協力をいただいた鹿角市の農家様の北限の桃、品種は川中島白鳳

鹿角は「北限の桃」として有名ですが、北限の桃という品種はないのだそうです。実は水戸が原産の「川中島白鳳」というのが正式な品種名だそうです。桃の寿命は12年くらいと言われていますが、右の2本は現存する中で長寿命で37年経過しているそうです。痛々しい姿ですがちゃんと実がついているのには驚きです。



クマの被害対策



畑で使用した電柵、杭が別途必要、ホームセンターで購入。アースはかなり深く設置が必要です。左のセットは25,000円程度です。100mケーブル付き。
もう一つ、木酢液をペットボトルに入れて地面に埋めておく。クマなどが山火事と勘違いして逃げるという実際の実例もあります。ペットボトルのキャップをしないで地表に出ていることがポイントです。



30リットル入り税抜き3,000円

活性炭の必要量は野菜関係は1坪に1リットル、果樹やリンドウなどは植え替えがないので大目に入れる必要があります。坪当たり100円です。

リンゴなどは紫紋羽菌や白紋羽菌の被害が発生していることがあります。その場合はトリコエースAと一緒にすき込むことをお勧めします。青森県のリンゴ畑で根の生育促進に採用されています。既存の畑の場合は水に溶いて流し込むBタイプがお奨めです。

トリコエースA、Bとも500g 入り税抜き **5,000円** 要冷蔵



輸入販売元 株式会社 アークネット
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1丁目6-30
TEL 019-651-0411 FAX 019-651-0439
URL <http://www.arknetjapan.co.jp>
ホームページで活用事例などを紹介しています。

製品のお求めはお近くのJA様、又は取り扱い会社をご利用いただけます。
インターネットからの御注文も受け付けております。
オンラインショップサイト アーク農園
<https://www.arknouen.jp>